

「オンリーワン徳島行動計画」の平成16年度の進捗状況について**1 はじめに**

「オンリーワン徳島行動計画」は、徳島県の進むべき方向と目標を示し、重点的に取り組むべき方策を明らかにした、平成16年度から平成18年度までの3年間の県政推進の指針となるものです。

県では、計画の基本理念である「オンリーワン徳島」の実現に向けて、「オープンとくしま」の実現、「経済再生とくしま」の実現、さらには「安全安心とくしま」の実現など7つの基本目標と、これを達成するために計画に盛り込んだ各種の施策・事業の着実な推進に、全力で取り組んでいるところです。

この計画の着実な推進には、県民の皆様にも主体的な参画をいただき、「県民・事業者・行政」が一体となって連携・協働して取り組むことが不可欠です。

そのためには、計画の適切な進行管理を行い、その内容を県民の皆様にも明らかにしていくことが求められています。

今回、「オンリーワン徳島行動計画」の初年度である平成16年度の進捗状況について、「施策・事業の進捗状況」、「目標水準・数値目標の達成状況」によりとりまとめました。

.....

施策・事業の進捗状況について

平成16年度を初年度とする「オンリーワン徳島行動計画」のスタートにあたっては、本県を取り巻く、厳しい経済・雇用情勢、南海地震、環境問題への対応など、多くの課題解決のために、計画に盛り込んだ施策・事業の実行に向けて、県を挙げて、スピード感を持って、取り組みました。

この結果、計画に盛り込んだ施策・事業については、ほぼ全てに平成16年度から着手したところであり、計画に掲げたそれぞれの目標の達成に向け、着実な推進を図っているところです。

計画の7つの基本目標別に平成16年度の主な施策・事業の進捗状況をまとめると次のとおりです。

1 「オープンとくしま」の実現

- 1 公文書公開制度について、より積極的な情報公開に努めた結果、情報公開度ランキング（H17.3）において全国第5位（平成14年度は第28位）となりました。
- 2 クリーンとくしまの実現に向け、「徳島県の公務員倫理に関する条例」の施行（H16.4）、同条例を補完する機能を持つ「業務改善・公益通報制度」、「業務に関する要望、意見等に対し適正に対応するための制度」を導入（H16.4）しました。
- 3 一般競争入札の拡大、事後審査方式の採用、電子入札システムの開発等、入札制度改革の着実な実行に努めました。
- 4 NPO、ボランティアなどの県民の自主的・自立的な社会貢献活動を促進するための基本条例として「徳島県社会貢献活動の促進に関する条例」を施行（H16.4）するとともに、条例を具体化するための「徳島県社会貢献活動の促進に関する施策の基本方針」を策定（H17.3）しました。
- 5 本県の財政構造について抜本的に見直し、持続可能で新しい時代に相応しい行財政システムの改革を行うため、「財政改革基本方針」を策定（H16.10）しました。
- 6 出先機関の再編・機能強化を図るため、「出先機関の再編整備計画」に基づき、阿南市、那賀郡及び海部郡を所管区域とする「南部総合県民局」を設置（H17.4）しました。

2 「経済再生とくしま」の実現

- 1 雇用を伴う県内経済の活性化を目指して策定した「徳島県経済再生プラン」（H16.3策定）に沿って、官民一体となり各種施策の計画的な推進を図りました。
- 2 独創的な技術やサービスの提供により、成長する意欲と可能性を持つ「オンリーワン企業」を支援するため、金融支援に加え、新たに県単独補助金制度を創設しました。
- 3 県内の有望なベンチャー企業を育成・支援する「とくしま市場創造1号投資事業有限責任組合（ベンチャーファンド）」を設立（H16.12）しました。
- 4 「創業準備オフィス（エッグルーム）」を開設（H16.8）し、創業の意思はあるが、創業するための知識がない等の個人、団体を対象に、専門家等による相談・指導を行い、創業までのサポートを実施しました。
- 5 徳島県での受注実績のない地元ベンチャー企業等に対し、「お試し発注制度」を活用した販路開拓支援を行いました。

- 6 「とくしまブランド戦略基本方針」の策定や移動ブランドショップ「新鮮なっ！とくしま」の制作・PR活動の実施など、新鮮とくしまブランド戦略の展開を図りました。
- 7 コールセンター等の企業誘致の促進及び既存県内企業の新増設に対する支援を行い、雇用の創出を図りました。

3 「環境首都とくしま」の実現

- 1 地球にやさしい環境活動を県民挙げて推進するための指針・規範である「環境首都とくしま憲章」について、各種メディアや環境イベントを活用し、普及啓発を実施しました。
- 2 「徳島夏のエコスタイル」(夏期における軽装)及び「徳島エコ・カーライフ」(環境に配慮して自動車を利用する生活)を県民運動として展開しました。
- 3 省エネルギー・長寿命など環境配慮型の車両用LED式信号灯器の計画的整備を図りました。
- 4 新エネルギーの活用を検討するため、有識者等による風力発電推進研究会を設置するとともに、佐那河内村大川原高原において、風況調査を実施しました。
- 5 従来 of 公害防止にとどまらず、日常生活や通常の事業活動による環境への負荷の低減を図るため、「徳島県生活環境保全条例」を制定(H17.3)しました。
- 6 きれいな水環境の保全に向け、旧吉野川流域下水道事業を推進するとともに、市町村公共下水道、集落排水の供用促進を図りました。
- 7 環境に配慮した製品・サービスを優先して購入する「グリーン購入」を、県民挙げて推進するための「グリーン購入徳島ネット」を設立(H16.7)し、フォーラム開催等普及啓発事業を展開しました。
- 8 県内の優良なリサイクル製品や、廃棄物等の発生抑制、再使用、再生利用に積極的に取り組む事業所を認定し、PRを行う「徳島県リサイクル認定制度」を創設しました。

4 「安全・安心とくしま」の実現

- 1 大規模災害発生時等の緊急事態に対応できる危機管理能力を持った知事直轄の危機管理組織として「防災局」を設置(H16.4)しました。(H17.4に「危機管理局」に改組)

- 2 県庁災害対策本部の補完、防災関係者の活動拠点など災害対策拠点機能を充実させた「消防学校(H16.4)・防災センター(H16.7)」を整備しました。
- 3 民間木造住宅の耐震診断と耐震改修に対する支援制度を創設し、木造建築物の耐震化の促進を図りました。
- 4 県立学校施設及びその他の県有施設の、耐震化推進のための耐震診断等を、計画的に実施しました。
- 5 災害対応能力の強化を図るため、大規模地震発生に伴う応急対策を検討する図上訓練を、市町及び関係機関と連携し実施しました。
- 6 安全・安心な農産物の供給を図るための「とくしま^{あんあん}農産物認証制度」を構築(H16.8)し、制度の周知を図りました。
- 7 消費者基本法を踏まえ、二十一世紀にふさわしい消費者保護条例への見直しを行うため「徳島県消費者保護条例」を廃止し、「徳島県消費者基本条例」を制定しました。
- 8 「徳島県迷惑行為防止条例」を改正(H16.6)し、ハント族に対する取締り強化を実施し、規制対象地域からハント族を一掃しました。

5 「いやしの国とくしま」の実現

- 1 一人ひとりの個性を尊重し、多様な能力の伸張を図る「学習環境づくり」のため、小学校1・2年生への少人数(35人)学級の計画的導入を推進しました。
- 2 本県で公立初の併設型中高一貫教育校となる「県立城ノ内中学校・高等学校」を開校(H16.4)しました。
- 3 学校独自の魅力・個性を引き出した「オンリーワンハイスクール」実現に向け、県立高校と障害児教育諸学校の高等部を対象に、プレゼンテーション審査等により15校を選定し、各実施校において特色ある教育活動に取り組みました。
- 4 生涯学習支援、学校支援、情報教育支援及び特別支援の拠点としての機能を併せ持つ「総合教育センター」を開所(H16.11)しました。
- 5 今後の文化振興の基本理念や方向性などを示した「徳島県文化振興条例」を制定(H17.3)しました
- 6 高校生の文化の祭典である「第28回全国高等学校総合文化祭徳島大会」を開催(H16.7～8)し、全国から約17,000人の高校生が参加しました。

- 7 スポーツ文化の振興や地域の活性化に資するJリーグチームの実現に向け、県民・企業・行政の三位一体での取り組みを進め、四国初のJリーグチーム「徳島ヴォルティス」が誕生(H16.12)しました。

6 「ユニバーサルとくしま」の実現

- 1 県民の男女共同参画の活動を支え、交流や情報の受発信を活発化するための男女共同参画推進拠点について、既存施設(アスティとくしま)を有効活用した整備(実施設計)を推進しました。
- 2 次世代育成支援対策推進法に基づき、本県の少子化対策の総合計画として、重点的・効果的な取り組みを推進するための行動計画「徳島はぐくみプラン」を策定(H17.3)しました。
- 3 シルバー大学校卒業生を対象に、さらに専門的で高いレベルでの学習機会を提供し、地域福祉のリーダーを養成するための「シルバー大学院」を創設(H16.9)しました。
- 4 障害者の自立と社会参加を促進するための拠点として、「障害者交流プラザ(仮称)」の整備を推進しました。
- 5 ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、各種施策を推進する上での基本的な方向を示した「ユニバーサルデザイン基本指針」を策定(H17.3)しました。
- 6 徳島駅から阿波おどり会館までの新町橋通り線において、障害者タウンウォッチングや県民とのワークショップ、車道の1車線を歩行者及び自転車の移動空間に開放する等のユニバーサル空間創出を図る社会実験を実施しました。
- 7 本県の人権教育・啓発に関する施策の総合的かつ計画的な取組を推進するための「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」を策定(H16.12)しました。

7 「にぎわいとくしま」の実現

- 1 近畿及び四国全体との交流の基盤となる四国横断自動車道(鳴門～阿南)の整備促進を図りました。
- 2 鉄道やバスの利便性の向上を図り、公共交通機関の利用を促進するための「店舗利用型パークアンドバスライド」を、県南部において実施しました。
- 3 県内を舞台にしたテレビ、映画、CM等のロケ撮影の支援・誘致の推進や、マスメディアやインターネットを活用した広告宣伝など効果的な情報発信に努め、本県観光のイメージアップを図りました。

- 4 阿波おどりの活性化のため、徳島市の阿波おどりの運営方法の改革や「はな・はる・フェスタ 2004」での春の阿波おどりを開催しました。
- 5 神山森林公園において、全国から約 7,000 名が参加し、「第 28 回全国育樹祭」を開催しました。
- 6 「e - とくしま推進プラン」(H16.3 策定)を、官民一体となって推進するための中核となる組織である「財団法人 e - とくしま推進財団」を設立(H17.2)し、計画の着実な推進を図りました。
- 7 「徳島県市町村合併支援プラン」に基づき、合併協議会事務局への県職員の派遣、合併協議会に対する運営費の補助、徳島県市町村合併特別交付金の交付を行うなど、市町村合併の支援を行いました。

目標水準・数値目標の達成状況

「オンリーワン徳島行動計画」では、7つの基本目標を具体化するための45の各重点施策ごとに、「目標水準」を定めるとともに、これを構成する主要事業についても、個々に「数値目標」を設定しており、合計350の「目標水準」、「数値目標」を掲げているところです。

今回、「オンリーワン徳島行動計画」の初年度である、平成16年度のそれぞれの「目標水準」、「数値目標」の達成状況についてとりまとめました。

実績値の出た320指標の達成状況の概要は次のとおりです。

(目標水準・数値目標の達成状況の概要)

「目標水準」、「数値目標」の指標の約9割が、目標値に向けて概ね順調に進捗しています。

- 1 約32%にあたる101指標が、計画に掲げた目標を既に「達成」しています。
<「達成」の具体例>

情報公開度ランキング(全国)	28位(H14)	5位(H16)	(目標:10位以内(H16))
NPO法人数	42団体(H14)	102団体(H16)	(目標:80団体(H18))
エコファーマー認定数(累計)	507戸(H14)	1,019戸(H16)	(目標:1,000戸(H18))

- 2 約60%にあたる193指標が、計画に掲げた目標に向けて「順調」に推移しています。
<「順調」の具体例>

お試し発注制度による発注事業所数	未創設(H15)	9事業所(H16)	(目標:18事業所(H18))
車両用信号灯器のうちLED式信号灯器の割合	10%(H15)	14%(H16)	(目標:18%(H18))
オンリーワンハイスクール推進事業実施校	0校(H15)	15校(H16)	(目標:45校(H18))

- 3 目標達成に向け今後「努力を要する」となっている指標は、約8%にあたる26指標となっています。
<「努力を要する」の具体例>

耐震診断で改修が必要であると判断された住宅の耐震改修実施個数	未実施(H15)	16戸(H16)	(目標:1,800戸(H18))
--------------------------------	----------	----------	------------------

2 今後の取組

この計画の進行管理にあたっては、計画をより実効性のあるものとするため、「**進化する行動計画**」として、社会経済情勢等の変化や新たな県民ニーズに即応して、毎年度必要な改善見直しを行うこととしています。

(1) 平成16年度における改善見直し

計画の7つの基本目標の達成に向け、重点的に展開する45の重点施策に盛り込まれた施策・事業（主要事業）について、計画策定以降の社会経済情勢等の変化や新たな県民ニーズに即応するため、特に重要なものについて具体化を図り、新たな主要事業として43項目の追加や修正等を行ったところです。

(2) 平成17年度の改善見直しにあたって

平成17年度の計画の改善見直しにあたっては、平成16年度の計画の進捗状況の点検・評価結果について、徳島県総合計画審議会などにおいてご議論をいただくともに、パブリックコメントや、知事と県民が地域別・年代別で意見交換する場である「しゃべり場とくしま」、県ホームページ等での県民意見等を、できる限り計画の改善見直しに反映してまいります。